第31号
昭和34年(1959)
5月10日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)750番

広報とちお

昭和32年2月20日第3種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(4月末日現在)

世帯数	7.236
人口	38.525人
男	18.635人
女	19.890人

主な記事
一面…▷参議院通常選挙行われる
▷統一地方選挙の結果
▷選挙教室
二面…▷新年度予算決まる
▷中小企業者に貸付金
▷自動車講座二期生を募集

6月2日 参議院議員通常選挙

良識のある人物を
棄権はやめましょう!!

去る七日公示された第五回目参議院議員通常選挙の公示がなされ、それぞれ選挙区として定員を割り当てられた六月二日の二院選挙が行われることになっております。その選挙のことを参議院議員の通常選挙といいます。

さて、参院選挙は、全国区と地方区の二とおりの選挙区でそれぞれ同時に行われます。すなわち、選挙人は、全国区で立候補した人の中から一人を選んで投票すると同時に、地方区の候補者も一人選んで投票します。つまり一人の選挙人が全国区と地方区の二票を投ずるわけです。

全国区というのは選挙区が議員通常選挙区というのは、地方区というのは都道府県をそれぞれ選挙区として定員を割り当てるものです。

こんどの通常選挙では全国区五十二人、地方区七十五人の議員が選出されるものであって、第五回目の参議院選挙は、第五回目の参議院通常選挙区では二人を改選する議員通常選挙が行われるわけです。ところで国会議員の選挙は国民がどんな政治を求めるかの意思を表明する機会なのですから、こんどの参院選挙でも自分の欲する政策に少しでも近い人を選ばなければなりません。同じ政党の候補者が数名あれば、そのうちから人物のすこしでもすぐれた人を選ぶのは当然であります。

参院選挙 補充名簿の登録申請

申請期間　十六日～二十日

本年は春から選挙、選挙で明け暮れ、選挙疲れでこんどの参院選挙は投票率がずっと低くなるのではないかと心配されますが、主権者としての義務と権利は必ず行使しなければなりませんから、きたる六月二日には、棄権することなく、公明正大な選挙を行うようお願いいたします。

(選管)

選挙のあるたびに選挙管理をすることができます。

該当者は、申請期間中に忘れずに申請書を提出してください。

一　申請のできる人
　1　欠格事由に該当しなくなった人
　2　年令満二十年に達した人
　(昭和十四年四月二十四日から)昭和十四年四月十六日(まで)以前に生れた人
　3　三カ月の住所期間を充足するに至った人
　(本年一月二十三日から)二月十五日(まで)以前から引き続いて栃尾市に住所を有している人
　4　特別選挙権を取得した人
　(海外引揚者など)
　5　基本選挙人名簿または補充選挙人名簿に登録される資格があった人で登録されなかった人
　6　選挙権者
二　申請期間等
　五月十六日から二十日までの五日間、毎日午前八時三十分～午後五時
三　申請の方法
　一定の様式によりますが、申請用紙は選挙事務室にありますからご利用ください。

なお、地方選挙のとき、投票所入場券をもらっているかたは、選挙人名簿に登載されているのですから、今回は、申請の必要がありません。

四　縦覧および異議申立期間
　できあがった名簿は、五月二十四日から、二十七日までの役所でお見せいたしますから、この期間中に登載されたかどうか、氏名など誤りがないかどうかを よく確認してください。

関心を示した地方選挙

投票率　県選挙 九二・〇八%　市選挙 九四・七二%

去る四月二十三日執行された県知事選挙および県議会議員一般選挙は、身近な選挙で あるだけに選挙人の選挙に対するいろいろな関心に今までになく強かったようです。あいにく投票日の午前中は風雨に見舞われ、投票成績の低下が心配されましたが、昼頃から風雨も止み、出足も急に上昇し投票率は九十二・〇八パーセントという好成績をあげ、県内の市部中第一位にのしあがったのであります。これは選挙人の皆さんが選挙↓政治↓生活という心の認識をあらためて、よりいっそう関心を深めた結果であるといいましょう。続いて行われた市議会議員一般選挙も四十四人の候補者の間で激しい選挙戦が展開されましたことはご存じのとおりであります。なお、今回の統一地方選挙の開票結果は、次のとおりであります。

◎県知事選挙
当　北村一男
　当市得票数　二六、五三五票
　(総得票数)七二、六三五票
次　鈴木吉治郎
　当市得票数　二、九二二票
　(総得票数)三、五三五票

◎県議会議員一般選挙
当　佐藤熊次郎　一〇、三九九票
次　馬場雄一　八、五九〇票

参議院方区(地方区)議員候補者立会演説会

とき　五月二十日午後一時から
ところ　栃尾小学校
▼候補者の政見を聞く最もよい機会ですから、多数ご来場ください。

市議会議員一般選挙 開票結果

区名	投票所名	投票率 男	投票率 女	投票率 計
1	栃尾市役所	95.63	93.23	94.26
2	栃尾小学校	94.45	94.96	94.73
3	栃尾貫小学校	96.71	95.43	96.02
4	栃尾土谷小学校	95.77	94.94	95.33
5	栃下塩谷中学校	94.67	95.51	95.11
6	熊入小学校	96.84	95.47	96.14
7	川崎小学校	95.57	92.97	94.15
8	梅谷小学校	96.90	94.38	95.58
9	上野俣小学校	97.45	96.23	96.84
10	塩崎区長宅	96.27	92.20	94.14
11	栃堀小学校	96.25	95.57	95.91
12	東谷小学校	95.74	93.45	94.54
13	天荷一之島小学校	95.62	95.04	95.32
14	荷頃之島青年会館	95.99	94.63	95.25
15	一之貝小学校	95.96	95.01	95.45
16	之貝小軽井沢分校	94.19	91.87	92.99
17	比木津川小学校	95.50	94.07	94.76
18	本人吹東谷川小学校	91.87	95.21	93.68
19	吹東西谷之上小学校	96.08	93.75	94.78
20	田森中新繁半半部館	96.15	92.64	94.36
21	森中新繁半半館	94.63	94.84	94.74
22	繁半半館	95.56	96.58	96.09
23	半半館	93.48	90.31	91.84
24	半半館	95.96	96.84	96.39
25	半半館	92.31	93.14	92.72
26	半半館	94.16	95.97	95.10
27	半半館	97.06	94.70	95.82
28	半半館	98.29	94.44	96.30
29	半半館	93.91	93.91	92.99
30	半半館	94.83	94.64	94.74
	計	95.31	94.20	94.72

市議会議員一般選挙 開票結果

当	候補者	票	当	候補者	票	当	候補者	票	当	候補者	票
当	大橋庫之助	62	当	中沢庄兵衛	48	無	羽賀光士	54	無	星野淳一	49
当	米山忠成	62	当	本田新助	49	無	猪俣弘男	46	無	外山兵衛	39
当	高野正徹	62	無	稲田喜作	56	無	石田藤蔵	58	無	鄭佐良平	56
当	野沢喜之七	63	無	高橋忠作	51	無	多田伊二	52	無	大崎龍佐	49
当	倉茂与三郎	51	無	高林幸平	56	無	吉原喜兵衛	55	無	嘉代善一	41
当	八木金吾	55	無	佐藤久左工門	48	無	大橋正賢	64	無	棚村守男	55
当	椿明	51	無	山井龍五郎	54	自	渡辺又七	56	無	斎藤勇吉	46
当	山井五郎	51	無	六九九、六〇票		無	有効投票　三、八三票		無	無効投票　一六〇票	

市議会議員一般選挙 補充選挙

当	候補者	票	当	候補者	票	当	候補者	票	当	候補者	票
当	川田仁一郎	52	無	斎藤富雄	52	無	八木茂助	53	無	課佐美四吉	53
当	内多一郎	36	社	八木茂助	53	無	桜井藤雄	65	無	佐藤源治郎	65
当	諸橋昭一	33	無	佐藤鶴一郎	59	無	上村新右工門	58	無	鈴木正俊	55
当	高橋幸平	59	無	八木金吾	55	無	棚村守男	49	無	炎木久松	44
当	金内紀	58	無	七〇七、五三票		無	二八一		無	二〇七	
当	三七九、九三票		無	三一四		無	二〇七		無	無効投票　一六〇票	
当	三六、六三票		無	三一二、五三票		無	三一一、六一票		無	三四六、六三票	
当	三六、六三票		無	三一二、五三票		無	三一一、六一票		無	三四六、六三票	
当	五九六、六三票		無	五六〇、六三票		無	五四四、七三票		無	五四三	
当	五四二、六三票		無	五四二、六三票		無	五四三		無	五四二、六三票	
当	五四二、九三票		無	五四二、八三票		無	五四二、八三票		無	五四二、八三票	
当	山井龍五郎	51	無	五四二、八三票		無	斎藤勇吉	46	無	伊東義正	50
当	山井五郎	51	無	五四二、八三票		無	伊東義正	50	無	無効投票　一六〇票	

国民金融公庫貸出しのお知らせ

▼申込〆切日　五月二十日(五月に限り)
▼申込場所　栃尾信用金庫、栃尾商工会、市産業課

新年度予算決まる
一般会計　一億七千七百七十余万円
第一回市議会

昭和三十四年度予算などを決める第一回市議会定例会がさる三月十一日市役所に招集され、会期十五日間で予算など議案三十件、請願十七件を審議して閉会しました。

この第一回市議会定例会で可決された議案のうち、大きなものは、なんといっても昭和三十四年度の栃尾市の生計費である予算であります。

この予算のうち一般会計予算に集点をしぼり、予算審議前に助役が、予算編成内容を各款別に説明したあらましをお知らせいたします。

歳出

【議会費】では、参与が四月の議員改選時までの在任であるため、その分が減額となっています。

【市役所費】では、人件費が自然増となっておりますがその他特定的のものはありません。

消防自動車を購入

【消防費】では、自動車ポンプ一台分二百万円が備品費に計上されております。その調査の学界報告書を作っておきたいということで、その製本費として二十万円を計上しました。公民館費では、職員を一名増員を見込んだことと中央公民館建築費として一応四百万円を計上しました。この建築は、大体八百万円くらいで二カ年程度でやりたいと思っているのであり、とりあえず四百万円を計上したものです。

なお、小学校費では、前年度に比し、千五百万三千百円の減であります。これは昨年東谷小学校ほか三校を増改築しましたが、本年度の当初予算には、建築費が除いてあるために減となっています。

営繕費では、十六万七千円ふえています。

中学校費では、八十八万四千四百円の減となっております。これは昨年、栃尾中学校の整地工事費として七十五万円計上してありましたが、本年は、それが計上してない関係であります。

教育費関係で七十八万八千九百円の増額となっています。

建築費400万円

【教育費】では、経常的経費が主であります。

学校教育関係で新規のものとして、小学校児童生徒のライブラリーに二十万円の補助を計上しました。

中央公民館建築費400万円

社会教育費では、栃倉遺跡調査の学界報告書を作っておきたいということで、その製本費として二十万円を計上しました。公民館費では、職員を一名増員を見込んだことと中央公民館建築費として一応四百万円を計上しました。この建築は、大体八百万円くらいで二カ年程度でやりたいと思っているのであり、とりあえず四百万円を計上したものです。

なお、小学校費では、前年度に比し、千五百万三千百円の減であります。これは昨年東谷小学校ほか三校を増改築しましたが、本年度の当初予算には、建築費が除いてあるために減となっています。

営繕費では、十六万七千円ふえています。

中学校費では、八十八万四千四百円の減となっております。これは昨年、栃尾中学校の整地工事費として七十五万円計上してありましたが、本年は、それが計上してない関係であります。

教育費関係で七十八万八千九百円の増額となっています。

この内容は教育振興費で四十一万六千九百円の増となっており、新らしく計上されたものに高頃中学校の蓮楽教育研究補助があります。これは昨年追加予算で計上しましたが、本年は、当初予算に二万円計上したものです。次に栃尾小、中学校が三カ年継続事業で行なってきた理科教育研究の最終年でありますので、研究発表をやろうということで、その費用五万円を計上しました。また、道徳教育の研究を半蔵金小学校に指定してやりたいということで、その助成を考えて二万円を計上しました。

なお、小学校費では、ライブラリーに補助として二十万円を計上してあります。このほか教職員研修費が七万円計上してあります。

生活保護費で約二百四十七万円増

【社会労働施設費】では、二百九十万三千二百円という大幅な増額でありますが、大体生活保護費の増額であります。福祉事務所費の備品費にパイクを購入したいというので十三万円計上してあります。生活保護費が二千二百五十万四千円で約二百四十七万円の増となったのは、ほとんどが医療扶助費の増大による関係であります。

じんかい焼却場建設

【保健衛生費】では、一般経常費で若干減額しました。火葬場の改築を考えなければならないが、まずもってその道路を先にやる必要がありますので、本年はその用地購入費として三十二万円を計上しました。

清掃費中に施設費三十万円計上しました。

尿貯溜槽を本年は三基設置したいというのであります。

焼却場建設費三百七十万円において四十四万八千百三十円の増加となっております。

主なものは林業振興費で工事費負担として九十五万円が計上してあります。これは昨年、環境衛生費では、改良便所の普及を考えて一カ所二千円の助成として百カ所分二十万円を計上しました。

保健費では、家族計画関係で六万円ほど新規に計上してあります。

【産業経済費】では、総額二百万円の計上であります。

【商工費】では、新規事業で繊維試験場栃尾分室の内部施設に対し県から二千万円の予算を出していただき、これを強化してもらうというものであり、地元市として百万円の助成したいと考えているのであります。

市町村農地開発事業費として四十九万九千五百円の計上をしてありますが、これは昨年まで守門総合開発費として計上したものを本年からは県と一百万円、上水道会計へ四百万円計上されました。

市税六千八百四十四万円みこむ
地方交付税は六千五百万円

歳入

国庫支出金では、義務教育教材費負担が八十五万円、生活保護費が一千七百九十二万、三千円、参議院議員選挙費六十万円、児童福祉費百五十六万八千円となっております。

国庫補助金で主なものは、社会労働費補助の百十五万五千九百円で、これは失業対策費に対する補助であります。

消防関係では、防火水槽に十六万円、自動車ポンプ一台分で十四万円をみました。

県支出金は、三百三十万八千三百円であります。

負担金は、県知事及び県議選挙費四十五万円であります。

県補助金は、総体で二百八十五万八千三百円で社会労働施設費に六十六万三千八百円、衛生費に七十五万一千八百円、産業経済費に百二十四万三千百円及び統計調査費補助は十九万四千六百円、臨時費補助五千円となっています。

寄附金は、総額百八万二千五百円であり、防火水槽四カ所分十八万円、これは工費の三分の一を地元から願うものであります。可搬式ポンプ三台分で十四万円出差引残金ありません。

繰越金は、前年度千二百万円をみましたが本年度は一千万円計上しました。

市債は、じん芥焼却場建設費二百万円であります。以上歳入合計一億七千七百七十万八千七百七十七円となり、歳入歳出差引残金ありません。

自動車講座
第二期生募集!!

公民館では、開設中の自動車講座受講生等二期生の募集を始めましたので、受講希望者は五月二十五日までに中央公民館にお申し込みください。

募集人員は二十名(申込先着順)詳細については中央公民館(〒七六一番へ)

中小企業者に資金の貸付

県内の中小工業の設備を近代化してその合理化を推進するため、性能優秀な施設又は設備の設置に要する資金の一部を貸付けて中小工業の振興を図っております。昭和三十四年度の借入を希望されるかたは、左記により産業課へ申し込んでください。

一受付期間　五月二十日まで
一貸付金の範囲及び利子
▽中小企業振興資金
　設備資金の三分の一
　無利子
▽設備近代化資金
　設備資金の三分の二
　年四分八厘
一償還方法　五年均等償還

編集後記

▼…「広報とちお」四月と五月号の合併号をお届けします。

▼…四月は選挙事務におわれ、こころならずもお届けすることができなかったことをお詫びいたします。

×　×　×

▼…地方選挙が県下でも優秀な投票率で終りましたが、まったく参議院議員の選挙が行われます。

▼…忙しい時期ですが、棄権しないで、公正明朗な一票を行使したいものです。

×　×　×

▼…広報紙の体裁を今月号からタブロイド版に改めました。

▼…なんとか読みやすいものにと常々考えております。

▼…この広報紙に対するご意見をおまちします。

昭和34年度新潟県栃尾市歳入歳出予算一覧表

一歳入一

款	別	予算額	総額に対する百分比	前年度に比し増減(△印減)
市税		68,444,000	38.51	1,734,000
地方交付税		65,000,000	36.58	0
分担金及び負担金		138,000	0.08	△ 450,600
使用料		1,250,000	0.70	213,000
手数料		2,613,000	1.47	682,000
国庫支出金		23,077,900	12.99	△ 218,100
県支出金		3,308,300	1.86	△ 1,242,000
財産収入		1,082,500	0.61	△ 1,074,800
寄附金		500,000	0.28	500,000
繰入金		10,000,000	5.63	△ 2,000,000
繰越金		295,000	0.17	67,500
諸収入		2,000,000	1.12	△ 1,500,000
市債		177,708,700	100.00	△ 805,000
合計				

一歳出一

款	別	予算額	総額に対する百分比	前年度に比し増減(△印減)
議会費		4,610,600	2.59	△ 59,150
総務費		34,443,600	19.38	1,659,500
民生費		7,576,900	4.26	119,600
衛生費		18,397,000	10.35	0
労働費		37,738,300	21.24	△ 11,038,700
農林水産業費		29,795,900	16.77	2,903,200
商工費		9,377,700	5.28	4,164,400
土木費		17,317,100	9.74	1,448,130
消防費		2,169,500	1.22	534,900
教育費		328,200	0.18	39,280
公債費		1,752,200	0.99	815,900
諸支出金		4,114,700	2.32	226,220
予備費		8,737,000	4.92	△ 1,795,400
市税還付金		1,350,000	0.76	177,120
市税還付加算金		177,708,700	100.00	△ 805,000
合計				

昭和34年度特別会計予算

会計別	本年度予算額	前年度予算額	差引増減(△印減)
公地区	1,938,000	3,063,200	△ 1,125,200
国保	3,675,555	3,738,074	△ 62,519
結核	33,935,500	28,677,500	△ 5,258,000
伝染病	2,602,000	3,300,000	△ 698,000
上水道	2,158,200	2,158,200	0
合計	34,305,000	45,000,000	△ 10,695,000
	78,614,255	85,936,974	△ 7,322,719